

<全体分析>

試験時間 120 分 解答問題数 5 題

解答形式

全問記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

難問が多かった昨年に比べると、解きやすい問題が増えた。

出題の特徴や昨年との変更点

毎年よく練られた問題がバランス良く出題されている。

その他トピックス

確率の問題が珍しく出題されなかった。その一方で、本格的な整数の問題は、続いている。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	指數・対数 多項式の微分	数学II 数学II	指數の部分を置くと3次関数になるような関数の極大・極小。最大値と最小値が指定された値になるような区間に注目する。	標準
[II]	整数	数学A	方程式の自然数解。解の個数を評価するところが難しい。	やや難
[III]	空間ベクトル	数学C	平面と直線の交点。空間で4点が四角形をなす条件の捉え方は何通りかある。四角形の面積。	やや易
[IV]	数列	数学B	和を求める際は、群数列や漸化式の手法を用いると解きやすい。3進法がテーマとはいえ、普通の数列の問題としても解ける。	やや難
[V]	微分法 積分法	数学III 数学III	グラフ、共有点の個数、回転体の体積など、標準的な手順で解ける。y軸で積分する場合は、置換積分が必要になる場合が多い。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年、主要分野からよく練られた問題が出題される。比較的解きやすい問題から、難しい問題まで出題されるので、標準的な問題集で幅広く力をつけておきたい。

証明問題も必ず出題されるので、要領よく記述する力も養っておきたい。

確実な計算力を必要とする問題も出題されるので、普段から自分の手で最後まで根気よく計算する練習を積んでおこう。

かなり難しい問題も例年出題されるので、標準的な問題の完答を目指して解いていくのが良いだろう。今回のセットなら、[I] [III] [V] は確実に解ききりたい。